

## 高橋ヨウ氏文書概要

- 1: 文書群番号 090011
- 2: 文書群名 高橋ヨウ氏文書
- 3: 出所 高橋ヨウ家
- 4: 家業・役職等 近世：未詳  
近代：西川村戸長
- 5: 地名 摂津国川辺郡西川村／兵庫県川辺郡西川村／川辺郡小田村西川／  
尼崎市西川／尼崎市西川2丁目ほか
- 6: 行政区分 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第11区／下坂部組戸長役場／小田村／尼  
崎市
- 7: 歴史 高橋家は近代に入り、戸長を勤めていたこと以外は不詳。  
西川村は神崎川の西岸に位置し、中国街道沿いであった。近世  
初期には幕府領、元和3年（1617）尼崎藩領となった。村高は「慶  
長十年撰津国絵図」に204.615石、「元禄郷帳」に218.393石、  
「天保郷張」に218.957石とある。また、天和・貞享年間（1681～  
1688）「尼崎領内高・家数・人数・船数等覚」には家数53軒・人  
数267人、「天明八年御巡見様御通行御用之留帳」（1788年）に44  
軒・161人とある。大井組に属し、氏神は八幡神社（近世には八幡  
宮）で、大正4年（1915）神崎の須佐男神社に合祀され昭和23年  
（1948）旧地に戻った。  
明治22年（1889）以降は小田村、昭和11年（1936）以降は尼崎  
市の大字となった。
- 8: 伝来 平成3年（1991）に枝川初重氏（当時尼崎市都市局部長）の仲介  
で、原蔵者より寄贈の申し出があり、同11年手続きを完了した。
- 9: 史料入手先 高橋ヨウ氏（原蔵者）
- 10: 点数 76点（目録件数76件）
- 11: 年代 正徳5年（1715）～昭和14年（1939）
- 12: 構造と内容 本文書群は、①地図・絵図、②詩歌・書画類で構成されてい  
る。史料の大半を①が占めており、うち、近世史料は天保7年  
（1836）刊行の「撰津国名所大絵図」のみであるが、近代は「分邦  
詳密万国地図」「最新興亜大地図」「清国本部輿図」等の世界地  
図・海外図をはじめ、「仮製地形図」「兵庫県管内図」「日本交  
通分県地図」など様々である。特に「仮製地形図」は、京阪神82  
地域のうち、27地域分が揃っている。また、尼崎に関するもの  
として、「撰津国川辺郡神崎村全図」のほかに「尼崎都市計画街路  
図」「小田村域内尼崎都市計画街路平面図」「神崎川神崎大橋下  
寄洲之図」「尼崎市上水道神崎水源地之図」といった図面があ  
る。これらの図面は、西川村域内に関連があることから、高橋家  
に残されていたものと考えられる。②では和歌短冊や額装・軸  
装の書画が多い。和歌短冊の中には、元禄2年（1689）の鑑定が付い  
た崇徳院の真筆とされるものがあるが、真偽のほどは定かではな  
い。書画類には、明治23年（1890）に発布された教育勅語をわかり  
易く絵解きした「教育勅語絵巻」や彩色豊かな「内裏雛図」があ  
る。また、原蔵者の言によると、書扁額「静観」は井上馨の自筆  
書であるという。書中に記された「世外」の号は同人の雅号と一
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 中村由佳